



＝協組の動き＝

(8月)
8日(土)～16日(日) 夏季休業
24日(月) 理事会(No. 1265)

(9月)
14日(月) 理事会(No. 1266)
28日(月) 理事会(No. 1267)



お子様の作文募集中!

本年も9月号に組合員従業員のお子さん・お孫さんの「夏休みの思い出」作文を掲載予定です。
皆様、奮ってご応募下さい。

※締め切りは8月24日(月)

応募者には薄謝を進呈します。
詳細は、各社総務担当者または組合管理本部へ!

2026年度 第1四半期出荷実績と 販売価格見直しについて

---出荷状況---

当協組の2026年度第1四半期出荷実績は、前年比100.0% 年初計画比90.2%の577千㎡でした。4・5月は前年比割れでしたが、6月は前年比112.8%、累計で前年並みの出荷となりました。しかし、年初計画数量に対しては下回る状況にあります。5月までは、建設作業員不足により都心部での再開発工事や新規工事に遅れが生じていること、労働時間規制により現場施工時間が短縮傾向にあること、さらに、荒天日が多かったことなどが要因と推察されます。しかしながら、6月においては、荒天日が多かったにも関わらず、前述の現場における作業員の確保がみられたことから出荷が上向いてきたと推察しています。特殊品出荷の比率が多く、大幅な出荷増にはなっていませんが、徐々に出荷は増えていくと思われます。現状から今後の展開は、上期は1,150千㎡程度と想定しています。6月末の契約残数量は、3,943千㎡であり、下期については、日本橋・八重洲地区再開発工事・内幸町地区再開発工事・赤坂地区再開発工事などの出荷が増加する予定であり、年初計画数量にて推移するものと思われます。しかしながら、諸資材の高騰及び作業員不足の解消に有効な解決策は見当たらず、更に物件の設計変更や建設計画見直しなど出荷数量に影響を及ぼす懸念も抱えています。

---販売価格見直しについて---

当協組は、2026年度は販売価格(25,000円/㎡)を据え置き、組合員は自助努力に努めてまいりました。しかしながら、製造コストは依然として上昇を続けており、骨材や混和剤価格、輸送費・電力費・設備維持管理費・設備投資費・労務費などコスト増加要因が2年分積み上がっており、6月に実施した、組合員への製造コストに関するアンケートでも、想像以上のコスト上昇を訴える回答を得ております。中東情勢も不安定な状況にあり先の見通しを困難にしています。さらには、セメント各社が、2027年4月より、現行価格プラス3,000円/t以上の値上げを表明しました。このように想像以上のコストの高騰により、もはや自助努力での吸収は困難な事態となっております。さらに、旧契約物件(P契約番号以前)も、24ヶ月を大幅に超過しており組合員の大きな負担となっております。

つきましては、2027年4月1日出荷分より、販売価格を30,000円/㎡(18-18-20N価格)とさせていただくことになりました。また、特殊コンクリート(シリカ系・軽量1種2種・白色・環境配慮型)についても同様に価格見直しを実施させていただきます。2023年4月より新しい販売契約方式として、販売価格の設定を「出荷ベース」にて「1年間の期間契約」としておりますので、既契約分(R及びA契約番号)についても同様の値上げをお願いいたします。当協組並びに組合員が持続的な発展をしていくために必須であることから、ご理解を得られるよう需要家様に説明してまいります。

2026年度 第1四半期実績

月	2025年度	2026年度	前年比	年初計画
4	201,479	189,248	93.9	220,000
5	188,160	176,432	93.8	190,000
6	187,737	211,793	112.8	230,000
計	577,375	577,473	100.0	640,000

新任理事ご挨拶

鳥井 久史



この度5月26日の通常総会で、理事に就任いたしました日本強力コンクリート工業(株)の鳥井久史でございます。どうぞ宜しくお願いします。

私は旧小野田セメント入社以来、人事・労務、総務、不動産、海外関係の管理等、主に管理系の仕事をしてきました。入社後は、旧小野田工場で勤労の仕事を担当しましたが、そこで労働組合の青婦部長として若手の組合活動を指導していたのが、前社長の西森さん(現城北小野田レミコン(株)取締役相談役)でした。数年後、西森さんは労組本部の委員長へ、私は本社の人事部労務課へ異動。その後2度の合併による制度統合、その他労使交渉で火花を散らした間柄でした(ほとんどが完膚なきまでにやり込められていました)。

また、この業界に入る前は、骨材メーカー・ディーラーの安倍川開発(株)にいました。生コンメーカーにとって良質で安価な骨材の確保は重要な課題だととらえておりますが、骨材メーカーは輸送費の高騰、人員の高齢化等で厳しい経営が続い

ております。加えて、河川砂利はもちろんです、山砂利・山砂砕石なども近年の林地行政の厳格化や盛土規制法の施行により、新たな資源確保が難しい状況です。骨材業界とはこれまで以上に情報交換や行政やゼネコンへの働きかけで協力し、人事交流なども検討していく必要があるのではないのでしょうか。

敬愛する先輩の後任、生コンの重要資材である骨材メーカー・ディーラーの出身ということもあり、今回の就任については何かしら不思議な「縁」を感じております。これを発奮材料として、社業と協組での役割に精励する所存ですが、夜の席も大変多い業界でありますので、趣味のランニング(今年生まれて初めてハーフマラソンに出場しました)、筋トレ、城郭・酒蔵巡りを楽しみながら心身をリフレッシュし、協同組合と業界の発展のために尽力して参りたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻を宜しくお願いします。

(日本強力コンクリート工業(株) 代表取締役)

(出荷数量)					(引合、成約、契残)		
7月(実績)			8月(想定)		7月(実績)		
		前年比		前年実績比			前年比
大型	186,796 m³	106.6%	135,000 m³	103.9%	引合	111,050 m³	44.5%
小型	28,075 m³	120.3%	15,000 m³	92.0%	成約	82,730 m³	40.4%
計	214,871 m³	108.2%	150,000 m³	102.6%	契残	3,858,856 m³	98.0%

JCI 2026 奈良大会 第33回生コンセミナー 参加報告

技術委員会では、7月8日に開催されたコンクリート工学年次大会 2026（奈良）の第33回生コンセミナー「悠久の地で大議論！ 生コンの未来！！」に、技術研修会として藤嶽副理事長以下27名で参加しました。

生コンセミナーは2部制で開催され、第Ⅰ部は「近畿地区における技術的取組み」として、大阪兵庫生コンクリート工業組合の栗延氏から様々な規・基準に対する対応と環境配慮への提案について、大阪広域生コンクリート協同組合の船尾氏から生コン工場における環境配慮への取組みについての基調講演が行われました。第Ⅱ部では、「ええコンクリートと幸せな働き方を目指して」として、明石高専の武田先生から多様な人材が支える生コン業界の未来について、

和歌山県生コンクリート工業組合の大前氏から生コン業界 DX の未来について、神戸市立高専の水越先生から生コン業界の未来とウェルビーイングについての基調講演が行われ、それぞれの議題について学識者、生コン、セメント、施工関連会社の立場から意見が交換されました。

改めて、生コン業界におけるこれまでの取り組みと今後の展望について、考えさせられたセミナーでした。



2025年度 コンクリート主任技士合格体験記

毎年この時期に組合員従業員でコンクリート主任技士試験に合格された方々の合格体験記をご紹介します。

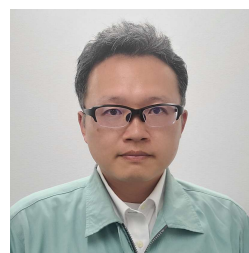
2025年度試験における当協組内の合格者4名の方々に①合格のための苦労談、会社・先輩のサポートについて ②若い人へ魅力ある職

場づくりへの提言 ③今後、どのように資格を生かしたいか、をテーマにコメントをいただきました。（掲載順不同）



津田 喬祐 さん
(桐生レミコン(株))

- ① 5回目の受験にて合格することができました。受験に向けた勉強では、皆さんと同様に業務との両立が課題でした。幅広い知識が求められる試験内容を理解し、自分の経験と結び付けながら学習することに苦労しました。会社からは、通信教育の受講や終業後の事務所の利用など、集中して勉強できる環境を整えていただき、最後まで努力を続けられたことで無事合格することができました。
- ② 今後、次世代が業界に魅力を感じ成長していくためには、資格取得や技術習得を積極的に支援する環境づくりが重要だと考えます。受験に挑戦する社員を会社全体で後押し、知識や経験を共有できる職場にすることが働きがいにつながると 생각합니다。
- ③ コンクリートに関する専門知識をさらに深め、品質と技術力の向上に貢献していきたいです。また今後の受験を控える後輩への指導やサポートにも積極的に取り組み、会社の発展に役立てていきたいと思っています。



清水 義宗 さん
(河島コンクリート工業(株))

- ① 論文について、勉強開始当初、出題傾向や書き方について通信教育で学習しました。普段よりメールや報告書、技術資料の作成機会が多く苦手ではありませんでしたので、過去問の学習に時間を掛けました。年齢のせいか記憶力に自信が無く、規格や数値を覚えるのに大変苦労しました。一気に詰め込んだというより、年数をかけて体に沁み込ませた感覚です。
- ② 生コンクリートは奥深く、工場の職務も多岐にわたり、一つの業界で様々な知識と経験を積める仕事だと思います。我々経験者が技術や製品、仕事の面白さを伝えていけるよう、日々元気にいきいきと仕事をしたいと思っています。
- ③ 社内の資格取得者をさらに増やし、新技術への挑戦や環境課題など、技術的な議論を活発に行える「チーム」に昇華できればと思います。



千葉 稜 さん
(三多摩アサコンクリート(株))

- ① 当社では、エンジニアスクールといった、当社独自の月一回の勉強会と、自宅学習の日々でした。勉強会の講師以外にも工場の先輩方やお世話になっている人に論文を添削して頂き沢山の人の支えられ、サポートを受けてコンクリート主任技士に合格することが出来ました。このような環境、機会を頂いた事に感謝しております。
- ② 若手社員の皆様に、的確なアドバンスと風通しの良い職場環境を整えることによって、資格取得に積極的になっていただきたいと思っています。
- ③ 今まで、教わる立場でしたが、これからは教えていく立場に徐々になっていくのでこの資格に恥じぬようにこれからも知識を活用したり、新たな知識も付けて業務に努めていきたいと思っています。



杉山 哲一 さん
(三多摩アサコンクリート(株))

- ① 何回目の受験か忘れてしまいましたが念願のコンクリート主任技士に合格することができました。当社のエンジニアスクールでの勉強会と自宅での学習、通勤時間を利用した学習の日々でしたが、諦めず挑戦し続ける事が出来たのは、様々な方々のサポート、ご指導をいただいたことが私の支えとなり、無事合格することができました。
- ② 若手社員に的確なアドバイス、フォローをして風通しの良い職場環境作りに心がけていきたいです。
- ③ コンクリート主任技士を取得したことに満足することなく、今後も技術と知識の向上に努め、社会に貢献できるように日々の業務に励んで行きたいと思っています。